

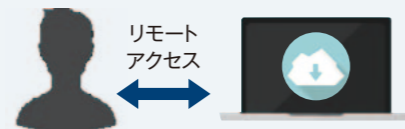
## テレワークを加速させる仮想デスクトップシステムの選び方

社外のPCやタブレットなどから社内のPC環境にアクセスできる「仮想デスクトップ」があれば、利便性とセキュリティを両立させてテレワークを始めることができます。

### インストールするだけですぐ使える「リモートPCアクセスツール」

製品例：Splashtop Business

- ・契約から3営業日で利用可能です。
- ・事務所で使っているPCにリモート接続するしくみですので、従来通りのアプリ・データが安全に利用できます。

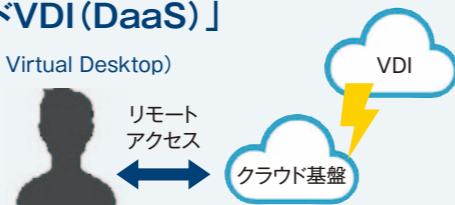


スピード導入が可能

### オールクラウドで機器調達が不要な「クラウドVDI (DaaS)」

製品例：Citrix Cloud with Microsoft WVD (Windows Virtual Desktop)

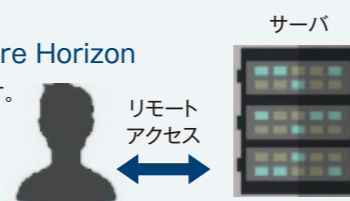
- ・高品質な仮想デスクトップサービスを月額で利用できます。
- ・サービス利用のため運用負担を軽減できます。
- ・常に最新の機能とテクノロジーを利用できます。



### 自社ですべて管理できる「オンプレミスVDI」

製品例：Citrix Virtual Apps and Desktops, VMware Horizon

- ・クラウド事業者の制約を受けることなく、最適なVDI製品を選択できます。
- ・自社の運用方法に適したインフラ管理ツールを選択できます。



自社に適した導入が可能

パナソニックISでは、仮想デスクトップ以外にもさまざまなテレワーク支援ソリューションをご用意しています。是非お気軽にご相談ください。

## TOPICS

### パナソニックISとアステリア、「Salesforce」と基幹システムを低コストで連携するサブスクリプション型サービスを提供開始

当社とアステリア株式会社は、両社の協業により、「Salesforce」と基幹システムとのデータ連携を低コストで実現するサブスクリプション型サービスを2020年2月25日から提供開始しました。

【特長1】月額7万円～の低価格

【特長2】専門技術がなくても利用できる高い操作性

【特長3】開発人数無制限

低コストで導入いただける本サービスは、2021年度末までに40社への導入を目指します。



### 編集後記

全国で猛威を振るう新型コロナウイルスは、従来のワークスタイルを一から考え直す契機となっています。当社でも在宅勤務を行う人がぐっと増えました。私自身も週1で在宅勤務を行っていますが、タスク管理の意識が付きましますプライベートも充実するので、育児や介護などの理由がない人でも確かなメリットがあると感じています。日々の報道などで不安は大きいですが、一日も早い事態の収束を祈ります。

### 発行元

パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社  
ビジネス企画・管理部 マーケティングチーム

〒140-0002 東京都品川区東品川2-3-14 東京フロントテラス18F  
TEL:03-5715-5470 FAX:03-5715-5471 <https://is-c.panasonic.co.jp/>

※本紙掲載記事の無断転載・複製を禁じます。  
※本紙に記載された社名および商品名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。

Panasonic

アイエスクローズアップ

# IS CLOSE UP

パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社

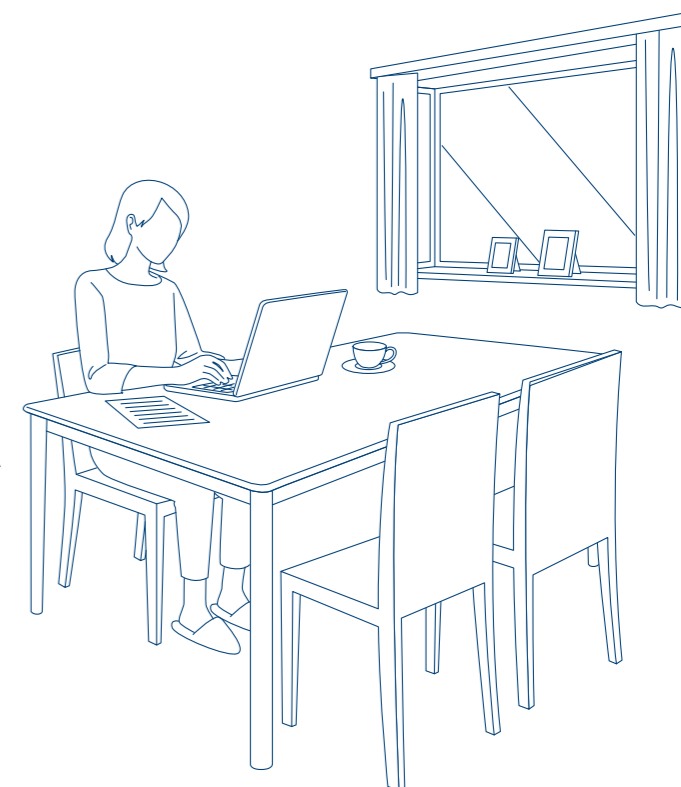
2020.4  
vol. 68

2020年、

# テレワーク どうする？

## TOPICS

パナソニックISとアステリア、「Salesforce」と基幹システムを低コストで連携するサブスクリプション型サービスを提供開始



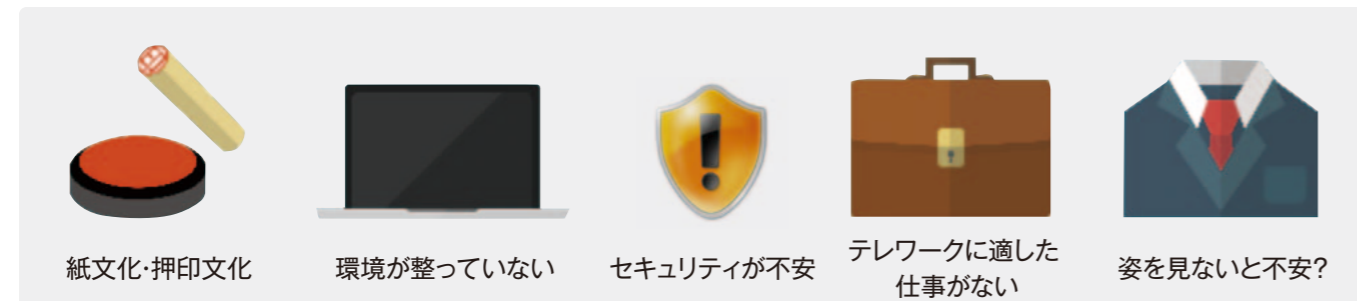
# 2020年、 テレワーク どうする？

## パンデミック、通勤混雑問題…対策は？

新型コロナウイルスの感染対策やオリンピック期間中の通勤対策に向け、テレワークの導入は避けて通れないものとなりつつあります。しかし、関心は高いものの、実際に導入できている企業は少ないのが現状。具体的にどのように進めればよいのでしょうか？



### テレワークに踏み切れない理由



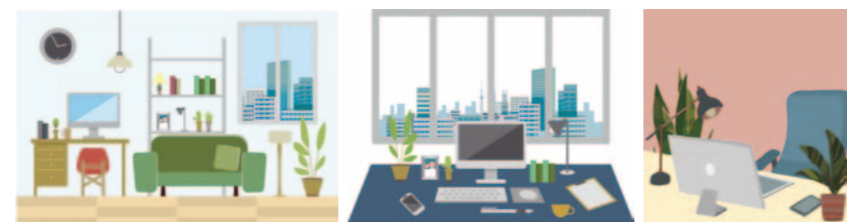
### 成功のカギは、「どんな業務もテレワークでできる」前提で進めること

業界や企業風土から「自社の業種や業務にはテレワークは向かないだろう」とテレワークを躊躇する人がいることは珍しくありません。テレワークでもできる仕事と会社でないとできない仕事を切り分けるのではなく、「どんな業務もテレワークでできる」前提で進めることが成功のポイントです。

押印業務を電子化する、セキュリティレベルを高めるなど、いつもの仕事をどこでも行えるように…という発想で工夫していけば、場所の制約はなくなります。



普段の業務がどこからでもできる！



### パナソニックISのテレワーク実践事例

パナソニックISでは、家で仕事する「在宅勤務」と外出先で仕事する「モバイル勤務」を行っています。

#### 〈事例1〉時短社員の場合

在宅勤務制度は3年ほど前から利用を始めました。当社は昔から仮想デスクトップ環境が整っており、モバイル勤務は普通だったので、在宅勤務も抵抗はありませんでした。終日在宅の日もあれば、午前休→午後在宅の日もあります。通勤時間をカットできますし、子供の学校行事を午前までに済ませてからすぐ業務に取り掛かれるので、大変助かっています。オフィスは顔を合わせてコミュニケーションできる

のが大きなメリットですが、1人でじっくりと考える業務は在宅勤務の方が向いていると感じます。「明日は在宅勤務だから資料作成は明日に回して、今日のうちに打ち合わせをたくさんしておこう」と、自然と使い分けていますね。もちろん、在宅勤務中もMicrosoft TeamsやSkype等でコミュニケーションが取れています。オフィスのTV会議とも連携できるので、在宅勤務だから会議に参加でき



ビジネス企画・管理部  
ユニットリーダー  
山田 亜紀

#### 〈事例2〉管理職の場合

VPN(暗号化通信)やVDI(仮想デスクトップ)、Office 365など、インフラを変えながら20年ほどテレワークを実践しています。場所を選ばずに仕事ができますし、動急や稟議の承認業務はスマートフォンからでもできるので非常に役立っています。

管理職の立場としては「テレワークで働く部下は目が届きづらい」という課題が出てくると思いますが、私は「勤務時間で見えるか、成果で

見るかの違い」だと考えています。出社していれば仕事をしているように見えますが、テレワークでは成果が全てです。だらだら残業して成果が上がらないよりは、短時間で集中して成果を上げてくれる方がビジネス上プラスだと思います。

当社ではテレワーク実施後にその日の業務内容を上司へ報告するルールがあるので、家だからサボるということにはなりません。むしろ、

各人が能動的に判断して動いてくれるようになります。人事制度やインフラが整っているなら、まずは是非一度試してみたいですね。



エンタープライズ  
ソリューション事業部  
主幹 高垣 義男